

事業評価書

補助事業名	保安灯改修工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市久保田外29地区内						
補助事業の成果の目標	市内の保安灯は、設置後約10年が経過し、灯具の老朽化が確認されている。また、保安灯が老朽化している地区において、更新にあわせ保安灯をLED化し、維持管理費用の軽減を図って欲しいとの要望が市に寄せられていることから、LEDへの改修を行うものである。 このことから、本事業により保安灯の改修工事を行うことによって、地域住民の安心安全な生活環境の向上に寄与するものである。 (参考指標) ・保安灯1基あたり電気料金:1,764円/年(LED) 5,076円/年(水銀灯)						
補助事業の内容	保安灯改修工事 ・鋼管柱自立型 5基 ・電柱共架型 130基						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 19,096,000	円	円	円	円	円 19,096,000
	交付金額	14,445,000					14,445,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、夜間の歩行者の安全の確保と維持管理費用の軽減を図ることができた。 また、地域住民へアンケートを実施したところ以下の回答を得ており、本事業による効果があると評価する。 ・自治会として感謝しています。 ・事件・不法投棄の減少に期待できる。 保安灯1基あたりの年間電気料金(令和6年4月分単価:161円/月(LED)) 1,932円/年(LED) 5,844円/年(水銀灯) 【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金である旨を以下の方法により(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む。)、実施。 ・市ホームページへの掲載 ・市広報誌への掲載 ・工事用看板への記載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も保安灯のLED化を早期にすすめ、歩行者の安全確保を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	(仮称)松本地区コミュニティ供用施設実施設計業務委託						
補 助 事 業 者 名	沖縄市長						
実 施 場 所	沖縄市松本地内						
補助事業の成果の目標	本施設は、地域住民の交流の場として、昭和56年3月に建築され、築43年を迎えて老朽化が進んでいる。また、沖縄市松本地区の災害時協力施設としての役割を担っているが、安全性に不安のある施設となっている。 このことから、地域住民が安全安心に施設を利用できるよう(仮称)松本地区コミュニティ供用施設整備を実施することが必要である。 そのため、本事業を実施することによって、当該施設の整備に着手でき、(仮称)松本地区コミュニティ供用施設を整備することができる。						
補 助 事 業 の 内 容	実施設計 一式						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 31,229,000	円	円	円	円	円 31,229,000
	交付金額	30,561,000					30,561,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、松本地区の災害時応援施設でありながら、老朽化により安全性に不安のある施設となっていた松本地区学習等供用施設を、(仮称)松本地区コミュニティ供用施設へと建替えるための設計業務を完了することができた。今後、本事業で作成した設計図書を基に、新築工事に着手したことを確認する。(10月着手予定) 【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む)により実施する。 ・市ホームページへの掲載 ・市広報誌への掲載(8月予定)						
事業の改善措置及び今後の対応	本事業で作成した設計図書を基に、新築工事に着手し、R8年度内での工事完了を目標に、地域住民が安全安心に施設を利用できるよう(仮称)松本地区コミュニティ供用施設の整備を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	市道高原23号線整備工事					
補助事業者名	沖縄市長					
実施場所	沖縄市高原地内					
補助事業の成果目標	本道路は、地域の生活道路として利用されているが、舗装整備後20年以上経過し老朽化による亀裂や劣化等が見受けられ、舗装面からは水が湧き出て、歩行者・車両の通行に支障をきたしている。 既設排水路も老朽化及び土砂等の堆積もあり排水機能が不十分であることから、地域住民の生活環境に支障をきたしている。 このことから本道路の湧水対策、排水路、舗装の整備を実施することにより、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境を整備する。					
補助事業の内容	整備工事 車道L=140m W=4.79~5.55m					
補助事業の始期及び終期	令和5年度（繰越）					
事業費及び交付金額		令和5年度 （繰越）	令和6年度	令和7年度	令和8年度	計
	事業費	円 26,086,500	円	円	円	円 26,086,500
	交付金額	24,926,000				24,926,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 1) 本事業を実施したことにより、排水路及び舗装の整備を行ったことで排水機能等も改善し、地域住民が本道路を安全に利用する環境整備ができた。 2) 地域住民へのアンケートを実施したところ、安全性や景観の向上がはかられたとの回答が寄せられており、本道路が安全に利用できる環境が整備できたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 本道路が特定防衛施設周辺整備調整交付金により実施されている旨の方法（防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。）により記載し本事業に係る地域住民への周知を行った。 1) 本工事前に地域住民へ配布する工事案内 2) 工事看板 3) 自治会の掲示板					
事業の改善措置及び今後の対応	今後も交通及び市民生活に支障をきたす市道について、地域住民の要望を踏まえ引き続き改善に努める。					
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無					

事業評価書

補助事業名	市道胡屋10号線ほか1件道路整備工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市胡屋・仲宗根町地内						
補助事業の成果の目標	本道路は、地域の生活道路として利用されているが、舗装整備後30年以上経過し老朽化により亀裂や劣化等が見受けられ、歩行者や車両の通行に支障をきたしている。 既設排水路も老朽化により劣化や破損が見受けられ土砂等の堆積もあり排水機能が不十分であることから、車両と歩行者、地域住民の生活環境に支障をきたしている。 このことから本道路の舗装及び排水路の整備を実施することにより、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境を整備する。						
補助事業の内容	整備工事 L=291m W=6.17m～11.4m						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 65,010,000	円	円	円	円	円 65,010,000
	交付金額	60,000,000					60,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 ・本事業を実施したことにより舗装及び道路排水機能が改善され大雨時の滞水が無くなり、地域住民の生活道路として安全に利用できる環境が整備できた。 ・地域住民へのアンケートを実施し、安全性の向上が図られたとの回答が寄せられており、本道路が安全に利用できる環境が整備できたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 ・工事前に地域住民へ配布する工事案内、工事看板及び自治会掲示板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、生活及び交通に支障をきたす市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	市道与儀10号線ほか3件整備工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	市道与儀10号線・市道与儀比屋根線・市道安慶田川東線・市道越来小学校北川線						
補助事業の成果の目標	本道路は、地域住民の生活道路及び児童生徒の通学路として利用されているが、歩道が整備されていないことから地域住民及び学校関係者から歩行者の安全を確保する為、歩道の整備を実施して欲しい旨の要望がある。 しかし、歩道整備には用地買収等の問題もあり早急に整備することが困難なことから、道路端部をカラー舗装により明確化することで、地域住民及び近隣学校の児童生徒が安全に利用できる環境を整備する。						
補助事業の内容	整備工事 舗装工A=484.0㎡ 区画線工L=173.0m						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 12,056,000	円	円	円	円	円 12,056,000
	交付金額	10,296,000					10,296,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 ・本事業を実施したことにより、歩行部分の明確化ができ、児童生徒が安全に利用できる環境が整備できた。 ・地域住民及び学校関係者へのアンケートを実施したところ、安全性の向上が図られたとの回答が寄せられており、本道路が安全に利用できる環境が整備できたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 ・工事前に地域住民へ配布する工事案内、工事看板及び自治会掲示板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、生活及び交通に支障をきたす市道について、地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	市道安慶田中学校線整備工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市安慶田地内						
補助事業の成果の目標	本道路は、地域住民の生活道路として利用されているが、舗装整備後20年以上経過し老朽化しており、車両の通行に支障をきたしている。また、既存の排水路も排水機能が不十分であることから、車両と歩行者、地域住民の生活環境に支障をきたしている。このことから本道路の舗装及び排水路の整備を実施することにより、地域住民が安全に生活道路として利用できる環境を整備する。						
補助事業の内容	整備工事 車道・歩道 L=15m、W=8.51m						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 7,228,100	円	円	円	円	円 7,228,100
	交付金額	5,841,000					5,841,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 ・本事業を実施したことにより舗装、排水路及び歩道の整備ができ、地域住民が本道路を安全に利用できる環境が整備できた。 ・地域住民へのアンケートを実施したところ、安全性や景観の向上が図られたとの回答が寄せられており、本道路が安全に利用できる環境が整備できたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 ・工事前に地域住民へ配布する工事案内・工事看板及び自治会の掲示板に特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も、生活及び交通に支障をきたす市道について地域住民の要望を踏まえ計画的に改善に努める。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	吉原公園便益施設整備工事						
補 助 事 業 者 名	沖縄市長						
実 施 場 所	沖縄市美里一丁目地内(吉原公園内)						
補助事業の成果の目標	吉原公園の位置する吉原地域では、過疎化、高齢化、世帯数減少等により、住民同士のつながりが希薄になってきている。さらに、交流の場となっている吉原公園内にトイレがないことから、地域住民よりトイレの整備要望がある。そのため、本工事でトイレ整備を行うことにより吉原公園を地域住民のレクリエーションや交流の場として活用できる環境に整え、生活環境の充実を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	公園工事 一式						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 19,723,000	円	円	円	円	円 19,723,000
	交付金額	15,576,000					15,576,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業において、トイレ整備を行うことにより吉原公園を地域住民のレクリエーションや交流の場として活用できる環境に整えることで、生活環境の充実を図ることができた。 本事業の成果確認のため、地域住民にアンケート調査を実施したところ、吉原公園のトイレが新設されたことによって、公園が交流の場として利用しやすい環境になったと思うという回答が多数あったことから、レクリエーションや交流の場として活用できる環境が整備できたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 下記の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む。)により当該事業が特定防衛施設周辺環境整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知をする。 1) 本市広報誌に掲載(広報おきなわ_7月号) 2) 本市ホームページに掲載 3) 工事看板へ記載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も地域住民の要望や利用状況を踏まえ、安全で快適な公園の維持管理を行っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	沖縄市消防本部庁舎昇降機改修工事						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市美里地内						
補助事業の成果の目標	沖縄市消防本部庁舎は平成11年に建設され、昇降機においても設置から25年が経過し、現行法に対して既存不適格となっており、今後、供給困難となる部品が生じている。 また、同庁舎内では、応急手当講習会の実施や防災知識を学習するための防災研修センターがあり、幅広い年代の市内外の住民が多く利用している状況である。 このことから、本事業を実施することで、当該施設昇降機の安全性の向上を図り、今後も安定的に使用できるよう措置することで、施設利用者が安全かつ快適に利用できる環境を整備することを目的とする。						
補助事業の内容	昇降機改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 28,578,000	円	円	円	円	円 28,578,000
	交付金額	28,578,000					28,578,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより施設利用者の安全が確保され、今後も継続的に使用することができる。 また、定期検査を実施し、1年間の故障等の不具合の発生状況を確認していく。 【地域住民への周知の実施状況】 本事業の整備が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法により、地域住民へ周知を図った。 (1) 本市消防本部ホームページでの公表 (2) 工事看板へ記載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も施設利用者の安全確保及び快適性の実現を図り、事業を実施していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	ミュージックタウン音市場・駐車場電気設備改修工事						
補 助 事 業 者 名	沖縄市長						
実 施 場 所	沖縄市上地地内						
補助事業の成果の目標	本施設は、平成19年から開館しており、同施設及び同施設駐車場の電気設備は、設置から15年以上経過しているため、同設備に劣化が生じ、防犯カメラの映像が映らないなど、安全で快適な施設運営に支障をきたしている状況である。 このため、本事業を行うことにより、安全安心な施設管理を行い、市民サービスの向上に繋げることを目的とする。						
補 助 事 業 の 内 容	改修工事 電気設備 一式						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 59,290,000	円	円	円	円	円 59,290,000
	交付金額	円 55,000,000					55,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業において、ミュージックタウン音市場及び駐車場の電気設備を改修したことにより、施設利用者が安心安全に利用できる環境が整えられた。 電気設備改修後、1年間の故障及び不具合等の発生状況について、保守点検において確認するとともに、施設管理者による目視確認を行うなど、引き続き安全安心な運営管理を行っていく。 【地域住民への周知の実施状況】 下記の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により、当該事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。 1) 工事中における工事看板への掲載 2) 本市広報への掲載 3) 本市ホームページへの掲載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も施設利用者の要望や利用状況を踏まえ、安全で快適な施設の維持管理を行っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補 助 事 業 名	ミュージックタウン音市場空調設備改修工事						
補 助 事 業 者 名	沖縄市長						
実 施 場 所	沖縄市上地地内						
補助事業の成果の目標	本施設は、平成19年から開館しており、同施設の空調設備は、設置から15年以上が経過している。そのため、同設備に関連する冷房設備や室外機等において経年劣化等により、本施設の適切な維持運営に支障をきたしている状態である。 このため、本事業を行うことにより、安心安全な施設管理を行い、市民サービスの向上に繋げることを目的とする。						
補 助 事 業 の 内 容	改修工事 空調設備 一式						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 30,195,000	円	円	円	円	円 30,195,000
	交付金額	円 25,183,000					25,183,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業において、ミュージックタウン音市場の空調設備を改修したことにより、施設利用者が安全安心に利用できる環境が整えられた。 空調設備改修後、1年間の故障及び不具合等の発生状況について、保守点検において確認するとともに、施設管理者による目視確認を行うなど、引き続き安全安心な運営管理を行っていく。 【地域住民への周知の実施状況】 下記の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示を含む。)により、当該事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により実施されている旨を記載し、地域住民への周知を図った。 1) 工事中における工事看板への掲載 2) 本市広報への掲載 3) 本市ホームページへの掲載						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も施設利用者の要望や利用状況を踏まえ、安全で快適な施設の維持管理を行っていく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無し						

事業評価書

補助事業名	沖縄市立学校給食センター第1調理場物品購入						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市照屋地内						
補助事業の成果の目標	沖縄市立学校給食センター第1調理場においては、幼稚園6園小学校6校及び中学校3校に給食を提供している。 しかし、第1調理場のシステムコンテナ洗浄機は、購入から25年が経過し、経年劣化による不具合が度々生じ、事業の運営に支障を来している状況である。 このことから、本事業を実施することにより、今後も安定的に学校給食を安心かつ安全に提供する環境を整備する。 (参考指標) 令和5年度 不具合故障修繕回数:1回/年						
補助事業の内容	システムコンテナ洗浄機 一式						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 53,350,000	円	円	円	円	円 53,350,000
	交付金額	48,273,000					48,273,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、対象幼稚園・小中学校へ安定的に安全安心な学校給食を提供できる環境を整備することができた。 また設備更新後、1年間の故障及び不具合等の発生状況について、保守点検において確認するとともに、施設管理者による目視確認を行うなど、安定的に学校給食の提供を行えるよう引き続き、安心かつ安全に運営管理を行っていく。 【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む。)により、地域住民への周知を図った。 (1)本市ホームページでの公表						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も学校給食の安定供給に努め、整備した機械を適切に管理していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補 助 事 業 名	沖縄市立宮里小学校昇降機改修工事						
補 助 事 業 者 名	沖縄市長						
実 施 場 所	沖縄市宮里地内						
補助事業の成果の目標	宮里小学校に設置されている昇降機は老朽化が進んでおり、障害児等にも対応していない状況である。このため、本事業により当該施設を整備することで、障害児等の移動を円滑に行えるよう改善し、学校給食や教材の運搬を円滑に行う機能を備え学習活動を良好に整え、教育環境の向上を図る。						
補 助 事 業 の 内 容	昇降機改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 47,542,000	円	円	円	円	円 47,542,000
	交付金額	45,660,000					45,660,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、安全かつ円滑に移動が行えるよう整備が出来た。 また、教職員へアンケート調査を実施したところ「児童及び給食の配膳等が安全かつ円滑に対応できる」との回答が多数寄せられたことから、教育環境の向上を図ることができたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 本事業の整備が、特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を、以下の方法により地域住民及び保護者への周知を図った。 1) 工事看板 2) 学校だより(4月号掲載)						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も当該施設の維持管理を適切に行い、生徒等が安全且つ快適に利用できるように学校環境の保全を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	沖縄市立学校給食センター第1調理場物品購入						
補助事業者名	沖縄市長						
実施場所	沖縄市照屋地内						
補助事業の成果の目標	沖縄市立学校給食センター第1調理場においては、幼稚園6園小学校6校及び中学校3校に給食を提供している。 しかし、第1調理場のシステムコンテナ洗浄機は、購入から25年が経過し、経年劣化による不具合が度々生じ、事業の運営に支障を来している状況である。 このことから、本事業を実施することにより、今後も安定的に学校給食を安心かつ安全に提供する環境を整備する。 (参考指標) 令和5年度 不具合故障修繕回数:1回/年						
補助事業の内容	システムコンテナ洗浄機 一式						
補助事業の始期及び終期	令和6年度						
事業費及び交付金額		令和6年度					計
	事業費	円 53,350,000	円	円	円	円	円 53,350,000
	交付金額	48,273,000					48,273,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	【補助事業の成果及び評価】 本事業を実施したことにより、対象幼稚園・小中学校へ安定的に安全安心な学校給食を提供できる環境を整備することができた。 また設備更新後、1年間の故障及び不具合等の発生状況について、保守点検において確認するとともに、施設管理者による目視確認を行うなど、安定的に学校給食の提供を行えるよう引き続き、安心かつ安全に運営管理を行っていく。 【地域住民への周知の実施状況】 本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金による事業である旨を以下の方法(防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムの掲示も含む。)により、地域住民への周知を図った。 (1)本市ホームページでの公表						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も学校給食の安定供給に努め、整備した機械を適切に管理していく。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						